

平成 22 年 8 月 4 日

第 48 回技能五輪全国大会( 神奈川大会)  
第 3 回競技委員会及び競技説明会報告

文責:福岡 秀雄

1. 日 時:平成 22 年 8 月 3 日 14:30～17:30
2. 場 所:職業能力開発総合大学校 6 号館 3 階実習室
3. 出席者:木村、戸田、菊池、縄田、坂本、盛岡、竹内、岡田、福岡(敬称略)  
競技選手、指導員(6 チーム 19 名) 計 35 名
4. 議題
  - ① 技能五輪国際大会参加国の状況 (SMT 会議報告 at ノルウェー)
    - ア 参加国について
      - ・ 前回参加国数は、8 カ国
      - ・ 2011 ロンドン大会では、12 カ国の参加が必要
      - ・ 不足の 4 カ国分についてどのように対応するかが問題
    - イ 対策会議(ノルウェーにて)
      - ・ 競技主査、競技副主査、競技委員で対策会議を開いた
      - ・ 参加選手の年齢は、22 歳以下であるが今後 25 歳以下までとする提案をジャマイカ会議(10 月予定)で提案する
      - ・ 今回、次回(2013 ライプヒチ大会)は、ヨーロッパ大陸なので、ノルウェーの技術代表からヨーロッパ各国の技術代表に出場依頼する。
      - ・ UAE が本職種の審判長なので、アラブ諸国については、UAE の技術代表に依頼する。
      - ・ 企業のフルーク、米国の BICSI から各国へ参加以来を要請する。(了解を得ている)
    - ウ 日本での対応
      - ・ 本年度年齢制限が 25 歳まで引き上げとなっても今年度はそのままとする。
      - ・ 次年度以降は、皆様に相談のうえ対応する。
      - ・ 25 歳以下となった場合、特別なルールを考えなければならないかと思っている。
    - エ 各参加企業への依頼
      - ・ ASEAN スキル(ベトナム、マレーシアなど)にて実施予定となっている。現在日本とのレベル差が大きいので、トレーニング支援をして欲しい。
      - ・ 来年、ノルウェーとスウェーデン両国でスキル大会を実施予定。この競技に日本のチームに練習会を兼ねた参加以来があるので参加して欲しい。
      - ・ いずれにしても外国のレベルをある程度引き上げなければ参加してくれないと思う。協力して欲しい。
  - ② 全国大会会場視察報告
    - ア 会場の場所、周辺の交通事情について説明
      - ・ 神奈川県産業会館の所在地

- ・ 最寄の駅の説明及び車でのアクセス方法
- イ 競技会場について
- ・ 競技スペースは、3m×4m(ただし、競技エリア間は空いていない)
  - ・ 競技ブースは、昨年度と同様(変更なし)
  - ・ 各ブースにコンセントを2口セットする。(照明器具はつけても良い)
  - ・ バルコニーは非常に明るい、模造紙程度でしか遮光はしない。
  - ・ 選手所属の社旗は展示できない。(何らかの対応策を検討する)
- ウ 持込部材及び工具保管場所について
- ・ 2階ロビー前の一室をあてる
  - ・ 参加人数に応じて線引きをする
  - ・ 重量物については、エレベータを使用すること
- エ 選手控室当について
- ・ 選手控室は、3階に設置し、課題4の会場も兼ねる
  - ・ 課題4の競技会場は、別室にもう1室準備してある。
- ③ 全国大会課題概要説明
- ア 概要について説明
- ・ 課題4と課題5を平行に実施する。
  - ・ 従って、待ち時間が昨年比に半分となった。
  - ・ 振り分けは、ブースの抽選でABのグループ分けを行う
  - ・ 課題2は、5分時間短縮した
  - ・ 課題3のコンタクトタイムを30分に延長した
  - ・ 課題6の選択課題は、3メニューとする
- イ 1日目の競技について
- ・ 課題4と課題5を2グループに分けて実施する
  - ・ グループ分けは、ブースの抽選で分ける。
  - ・ 課題4は、グループごとに更に抽選して順番を決める
  - ・ 課題1は、メタル課題を60分、光課題を30分程度と考えている
  - ・ 昼休みを1時間30分取っているためその間に課題1の準備を行うこと
  - ・ 課題2は、5分短縮している。
- ウ 2日目の競技について
- ・ 全体の競技時間が短縮されている
  - ・ 新しく光成端箱が1個増設された
  - ・ 19インチラックは、パネルFの想定をよく理解するように(Fig1を参照)
  - ・ コンタクトタイムは、30分である。
  - ・ コンタクトタイム内でトイレなどは済ませておくこと。また競技開始5分前には戻ってくる
- エ スピード競技の採点方式の説明及び確認

④ 質疑応答

ア 課題 6 にて

- ・ A で DB-1 の成端の反対側はどのように処理するのか
- ・ 開放したままで、分電盤の上方で丸めて置けばよい
- ・ B で 8 ポートのケーブルは何を使用しても良いのか
- ・ U/UTP ケーブルで OK
- ・ B でパッチコードの長さでカテゴリはどうするのか
- ・ 長さは、1m 程度でカテゴリは、5e とする
- ・ B で(1)、(2)の配点はどのようになっているのか
- ・ (1)で 1 点、(2)で 2 点両方やっても 2 点である

イ Fig3 にて

- ・ TO-6 は、6 個支給となっているが図面では、3 個しか記されていない
- ・ 残りの 3 個については、当日指示する。(30%変更分の 1 つである)

ウ 課題 1 で変更したときのスイッチボックスは、2 連のままでよいのか

- ・ 1 連のスイッチボックスを使用する。
- ・ テーブル 1 の部品一覧に掲載されていないので後で追加しておく

エ テーブル 2 にて

- ・ M125 の OC-6 はどのようにするのか
- ・ 記載漏れである。追加して、数量は 10m である
- ・ M129 の同軸ケーブルの品番は
- ・ 記載違いである。S-5C-FB である

オ 要望

- ・ 課題 2 は、終了してから測定確認してから 2 日目の準備に入る。従って測定確認が遅い人は待ち時間が長く、そして準備時間があまり取れない。不公平感がある。せめて準備時間を 1 時間は確保して欲しい。
- ・ 善処する
- ・ 競技会場の見取図を配布して欲しい
- ・ 中央協会から最終版を入手次第配信したい
- ・ 駐車場の確保をして欲しい
- ・ 現在 20 台ほど駐車スペースがあるが「木型」と重なっているので今後調整次第である。
- ・ 近隣の状況(情報:昼食ができる場所はあるのか)が欲しい
- ・ 入手できたら配信する

⑤ その他

- ・ 質問受付は、10 月 8 日(金)を最終日とする。
- ・ 指導員登録票についてメールで配信予定